

○「プラン見直し通じて現状把握」

(京都府宮津市 日置地区連絡会議)(平成31年度第5回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

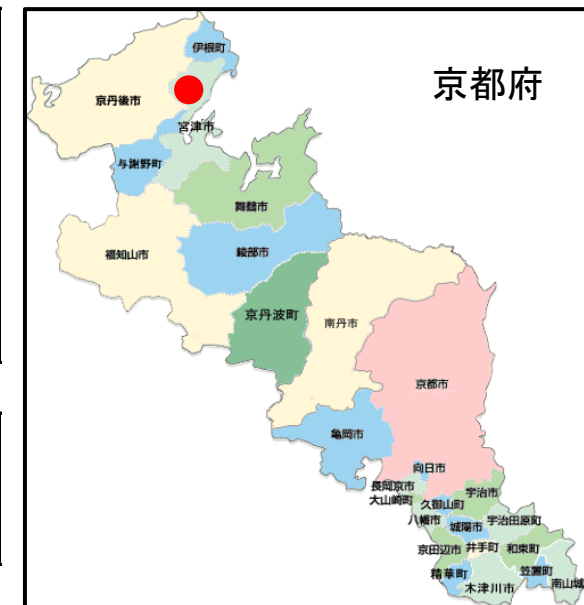
その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年2月6日(木) 19:00~21:30
- 場 所: 宮津市日置地区集会所
- 出席者: 田中推進委員、吉田委員
協力員・農会長等9人、市・関係機関4人
※委員2人、委員以外13人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 日置地区 法人2社と担い手農家3戸により、ハウス栽培、水稻を中心に営農されている



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 京力農場プラン検討
 - ・日置地区の農地 水田62ha、畑5ha 農事組合員数 上90戸、浜40戸 営農組織2、認定農家3
 - ・プラン実質化の説明 5年後は80歳以上の耕作地が2.6haになるので検討が必要。全戸回覧周知(意見交換)
 - ・遊休農地 上地区はなし。浜地区は3ヶ所。獣害の水路被害が多い
 - ・農地集積 今は相対。地区外地権者の対応が課題。農事組合に調整する項目はあるものの

※今後は、耕作者や営農組織間の連携の意見交換が課題となる

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援